

北アルプスの圧倒的な大自然を誇る白馬で、日本の教育と欧米の教育それぞれの良さを融合した新たな教育モデルを作り上げ、世界中の子どもたちが共に学びあえる場を提供したい。そんな思いから、白馬インターナショナルスクール設立構想は始まりました。白馬インターナショナルスクールは、学業のみならず、アウトドア教育、テクノロジー教育、そして持続可能な発展のための教育に力を入れ、国際バカロレア教育課程を採択して真のグローバル人材を育てる全寮制の中高一貫校となることを目指して、準備を進めています。第5回目の短期プログラムとなるスプリングスクール2019では、SDGs（国連が提唱する持続可能な開発目標）をテーマとし、環境問題に関するワークショップや国際バカロレアを代表する科目である「知の理論」、白馬の雄大な自然の中でのアウトドア活動、映像制作の授業など、様々な体験を通じて、深い学びを促します。生徒に大きな成長をもたらす5日間となるでしょう。



- 日程 2019年3月27日(水) - 31日(日)
- 指導言語 英語
- 対象 12歳から16歳の男女
- 場所 ノマド白馬
- 参加費 128,000円(期間中の宿泊費・食費・教材費込、白馬への交通費は含まれません)

Program

■ 知の理論 講師：キャロル 犬飼 - ディクソン

筑波大学客員教授 / 日本国際バカロレア教育学会会長

長年、国内外のインターナショナルスクールで教鞭を執った後、オランダハーグのIB機構でディレクターを務めた。本スクールでは「知の理論」の授業で自ら考えることの意義、重要性を伝える。



■ SDGs ワークショップ 講師：清水 イアン

環境アクティビスト

環境 NGO 350.org に勤務した後に独立。環境問題への意識向上を目指し、東京をベースにラジオ司会や執筆・講演活動などで活躍中。SDGs について生徒と共に考えソリューションを導くワークショップを担当。



■ アップサイクルワークショップ 講師：島津 冬樹

アーティスト / デザイナー

段ボールを愛する島津氏は「不要なものから大切なものへ」をコンセプトに世界中で集めた段ボールから財布を作る活動を展開。彼を描いたドキュメンタリー映画、『旅する段ボール』が昨年公開された。段ボールアートを担当。



■ クロスカントリースキー 講師：成瀬 野生

白馬出身クロスカントリースキー 選手

2006年トリノ、2010年バンクーバー、2014年ソチと、日本代表として冬季五輪に3大会連続出場。現役引退後、白馬で選手育成、スポーツ振興に努めている。クロスカントリースキーの楽しさを生徒に伝授する。



■ デジタルストーリーテリング

短い映像を制作するための考え方やツールを学ぶ。SDGs ワークショップでのディスカッションをもとに、身の回りで実際にできる SDGs 奨励のアイデアを出し、グループで映像にまとめて、世界に発信する予定。

